



# 特色ある学校づくりに係る資料（平成29年度）

学番	25	学校名	県立新発田農業高等学校	校長氏名	大田 英則
----	----	-----	-------------	------	-------

## I 校長として目指している学校像

### ◇ 校訓「知行合一」の実践

- 一心身ともに健康で調和のとれた人格の完成をめざし、  
新しい農業に対処し開発できる人材を育成する。
- ・ 農業の専門高校として教育内容を一層充実させ、職業人として社会に貢献できる人材の育成を図る。
  - ・ 農業の第6次産業化に対応する分野、環境創造に関する分野で豊かな感性と資質を持ったスペシャリストの育成を図る。

## II 学校の目標を実現するために必要な教師像

### ◇ 協調性に富み、一人一人が学校の経営者という意識を持ち、行動力のある教師

- ① 基礎学力と社会人としての素養を身につけさせ、個を伸ばす教育に邁進する教師
- ② 自ら範を示し、厳しくも愛情を持って生徒指導ができる教師
- ③ 地域や保護者の要望に対して適切に対応し、柔軟に行動できる教師
- ④ 社会の情勢をいち早くキャッチし、生徒の夢や希望の実現に向け、3年間を見通したキャリア教育のできる教師
- ⑤ 学校経営に積極的に参画し、協調性を持って行動できる教師

## III オンリーワンスクールの取組

### ◇ 郷土への愛着と誇りをもって地域産業の創生に貢献する人材育成

～チーム芝農で地元をもっと元気に！『地もっと元氣プロジェクト』～

- 地域産業の創生に貢献する人材の育成
  - ・ 地域の課題解決のために粘り強く挑戦する人
  - ・ 郷土の発展のために専門性を生かし、主体的に取り組む人
  - ・ 社会の情勢変化に柔軟に対応できる人
- 1年次
 

総合実習により、郷土理解、探究学習を行い、型を学んで術を習得。課題解決学習や10次産業化への取組、郷土の『宝』資源の活用、ポスターセッションやステージ発表など共同学習をとおして課題発見に取り組む。
- 2、3年次
 

課題研究をとおして、思考・判断力を身につけ、発展進化により実践力を養う。

  - ★ 地域産業の創生「芝農ブランドから郷土ブランドへ」
  - ☆ オール芝農商品の研究「芝農生産物で作る、新しい芝農特産品の研究」
  - ★ 10次産業化の深化
    - ・ 芝農ふれあい教育ファームの活用 【生物資源科】
    - ・ 農業と福祉等の連携活動 【環境科学科】
    - ・ 芝農カフェの運営・運用 【食品科学科】

## IV 農業の専門高校としての「芝農」の挑戦

- 基本的な生活習慣の確立に努め、ルールを守る精神と社会性を養う。
- 授業を第一とし、きめ細かな指導により、基礎学力の向上を図るとともに、家庭学習の習慣化により、知識の定着を図る。
- キャリア教育を推進し、全生徒の進路希望達成を図る。総合的な学習の時間(進路の時間)を一層活性化させ、進路講演会やインターンシップを充実させる。
- 農業の知識と技術を兼ね備えた人材育成を図るため、各種検定・資格に積極的に挑戦させる。(危険物取扱者、ボイラー技士、毒物劇物取扱者、フラワーデザイナー検定、園芸装飾技能士検定、造園技能検定、測量士補、他)
- 学校農業クラブ活動の拡充と全国大会での最優秀賞獲得を目指す。
- 部活動への積極的な参加により、人材育成とともに学校の活性化を図る。
- 地域貢献と開かれた学校づくりを推進する。  
(販売実習、触れ合い体験農場、都市緑化フェア参加、寄せ植え講座実施、他)
- 中学校や地域への情報発信をする (HPの定期的更新、PTA活動の充実)。